

平成21年度税務課 執行目標進捗状況

平成21年10月31日現在

執行目標テーマ	執行目標とする内容	目標指標	進捗状況	今後の取組
7 (3) 新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	<p>比準方式等による業務の効率化に向けた検討（資産税）</p> <p>今後も相当の新築家屋が見込まれることから、より以上の事務の効率化を図らないことには、対応することは不可である。限られた人員でもあることから、納税者への説明責任という問題はあるものの、「比準方式」評価方法（業務の簡素化）の導入に向けて研究する。</p> <p>土地評価についても、平成21年度評価替えにおいて木津川市基準を定めたものの、宅地評価において課税標準額を算出するに当たっては昭和63年まで遡って再評価する必要があります。これに係る事務負担軽減を図るための基準整備に着手していく。</p>	<p>今年中に「比準方式」について研究を行い、早々にその是非について結論を出します。</p> <p>また、土地に係る新たな基準作りのために研究を行い、早々にその是非について結論を出します。</p>	<p>△ 家屋評価の「比準方式」については、研究を始めたが、その是非についてまだ結論が出ていない。</p> <p>また、土地についても、十分な研究にまで至っていない。</p> <p>[理由]</p> <p>家屋比準評価については、他市の状況を参考に検討を進めたが、課題もあり安易に導入できないことがわかった。導入効果と課題の整理も含めて、来年以降に導入の是非も含めて検討することになった。</p> <p>土地評価についても、市内宅地の負担水準幅が差異や、既存宅地との課税バランス等課題が大きく、結論には至っていない。</p> <p>今年度は木津南地区換地処分や大型マンションの完成等、土地家屋共にそちらに時間が追われ、十分な検討に至らなかった。</p>	<p>職員の専門的知識の向上をはかり、係を上げて、研究に取り組みたい。なお今年度においては、年度末までさらに繁忙な時期が続くので、年度内での取り組みは困難である。</p>

凡例 ◎⇒達成済 ○⇒達成見込（一部実施し、達成する見込みがある場合） △⇒未実施（未達成になる場合を含む）

平成21年度税務課 執行目標進捗状況

平成21年10月31日現在

執行目標テーマ	執行目標とする内容	目標指標	進捗状況	今後の取組
	<p>システム改修・職員資質の向上 (市民税係)</p> <p>申告相談から納税通知送付まで(約4ヶ月)の間、連日の時間外勤務を余儀なくされる状況にある。また、この事務は他課の事務とも極めて密接な関係にあり、遺漏などの事態を招けば、行政全般に対する信頼を大きく損ねることは必至である。</p> <p>したがって、現体制(システムの質、職位の資質など)を充実させるため、税事務の共同化の進捗状況も踏まえながらシステム等の改修、資質向上に向けて努力したい。</p>	<p>昨年度は合併直後・税制改正(住宅ローン・所得変動)により、課税事務の改善になかなか取り組めなかったが、今年度は早急に近隣自治体や合併自治体を調査・研究し、市民税課税業務体制の確立を推し進める。また、課税事務自体が経験を要することもあるが、積極的に研修会等にも参加したい。</p>	<p>○ 先例、近隣合併市町(10団体)に対し、申告相談を主とした課税事務全般に亘る書面による調査を実施し、集約中。</p> <p>また、申告書の作成と平行して課税システムにデータが取り込める「申告支援システム」の実演など、導入のための調査研究中。</p>	<p>左記の結果を基に、迅速で正確な事務遂行のための方策を見出す。</p>

凡例 ◎⇒達成済 ○⇒達成見込(一部実施し、達成する見込みがある場合) △⇒未実施(未達成になる場合を含む)